

令和8年度 予算要望書

令和7年11月4日

会派名： 公明党

淡路市長 戸田 敦大 様

会派名： 公 明 党

氏名：土 井 晴 夫

西 村 秀 一

令和8年度 予算要望について

“市民の笑顔めざし 未来に繋ぐまちづくり”

- | | | |
|------|----------------------------|---------|
| 【1】 | 行政システムのスリム化と市民の視点に立った市政の実現 | P2～P3 |
| 【2】 | 安心・安全のまちづくり | P4～P8 |
| 【3】 | 農・漁業政策 | P9～P11 |
| 【4】 | 地域産業の活性化策 | P12～P13 |
| 【5】 | 教 育 | P14～P16 |
| 【6】 | 少子化・子育て支援 | P17 |
| 【7】 | 健康・福祉政策 | P18～P21 |
| 【8】 | 定住化促進 | P22 |
| 【9】 | 環境政策 | P23 |
| 【10】 | 住民サービス | P24～P25 |
| 【11】 | 淡路島活性化の推進 | P26 |

令和7年11月4日

淡路市長 戸田 敦大 様

兵庫県淡路市議会公明党議員団

代 表 土 井 晴 夫

幹事長 西 村 秀 一

令和8年度当初予算編成に対する申し入れ

平素より淡路市の行財政運営について、格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

不安定な世界情勢や長引く物価高騰の影響により、我が国の経済と生活が大きな痛手を受けています。原油価格や食料品などの物価高騰は、家計や中小企業だけでなく、農業や漁業など幅広い産業に、引き続き深刻な影響を与えており、予断を許さない状況が続いています。

また、予想を上回るスピードで進む少子高齢化や人口減少を見据え、公共サービスを将来にわたって持続可能なものとするため、働き方改革の実現、更なるDX化の推進や脱炭素の取組拡大により、持続的な地域社会・経済の構築を目指さなければなりません。さらには、南海トラフ地震への備えや、激甚化・頻発化する自然災害への対応を強化するためにも、デジタル技術を活用するなど、防災・減災対策の高度化が求められています。今後も、阪神・淡路大震災をはじめ過去の災害での課題や経験を踏まえた教訓の継承や防災対策の推進を引き続き強化する必要があります。

SDGsの「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、市民の安全安心な生活を守るため、複雑多岐にわたる課題に対して効果的な事業の再構築に取り組んでいただきたいと思います。

戸田市長におかれましては、初めての予算策定になりますが、躍動する淡路市を目指し、本政策提言で我々議員団の意図するところを十分斟酌いただき、各種事業に着実に反映されますよう強く求めるものであります。

【1】 行政システムのスリム化と市民の視点に立った市政の実現

1. 第1次総合計画に基づくまちづくりへの着実な実行
第2次新行財政改革策定に当たり住民合意を目指すことを第一義に考える
2. 健全な財政運営
 - ① 依然として厳しい財政環境のもと、社会保障制度改革、税制改革などの国の政策動向や社会経済情勢を的確に見極めながら、実質公債費比率、将来負担比率の改善など健全な財政運営を図ること。
 - ② 地域創生総合戦略の効果的な実施
 - ③ 入札制度のさらなる透明化かつ厳正化
3. 公共施設等、総合管理計画に基づく効率的な活用と民間活力の活用
 - ① 公共施設活用ガイドラインの策定
 - ② 公有資産の最適化への計画と実行をスピード感持って進める
4. 「行政評価システム」民間人参加型の検証
5. 税の滞納対策の強化（広報等による税制度の認知向上）
6. 合併特例債発行や過疎債の有効的な活用
（合併支援道路・公共施設・火葬場の促進・広域ゴミ処理施設等）
7. 行政経費の効率化
 - ① 行政のデジタル化のさらなる推進（住民サービスの向上・働き方改革）
 - ② IT活用で効率化の推進「答弁書等準備の負担軽減」
 - ③ LINE登録者数の増加並びに市民に対しどのような効果が出ているのか検証
 - ④ 情報システムの共同利用化・クラウド化を確実に実施
 - ⑤ 広告収入の拡大（ゴミ袋、ホームページバナー、ネーミングライツ）
 - ⑥ マイナンバーカードの安全性の周知徹底と活用事業の拡大
 - ア マイナンバーカードによる市民向け議会等の動画配信の検討
 - イ マイナンバーカードの更新手続きの支援強化

8. 行政運営のコスト削減（効果・効率的アウトソーシング）

【2】 安心・安全のまちづくり

1. 公共施設の耐震化の推進・・・災害時の避難場所を優先的に
2. 自主防災組織の機能強化
 - ① 体制の人的支援
 - ② 防災備品の配備強化（補助金の活用）
 - ③ 防災備蓄のデジタル管理並びに備蓄品詳細を市民へ啓発強化
 - ④ 小さなコミュニティでの地区防災計画の策定及びサポート
3. 防災減災対策
 - ① 防災タイムライン（事前行動計画）の早期導入
 - ② マイタイムラインの啓発・推進
 - ③ 気象防災アドバイザーの活用
 - ④ 土砂災害対策（危険個所の早期掌握と情報提供のさらなる強化）
 - ⑤ 社会基盤の総点検
 - ア 市道路面下空洞の早期点検
 - イ 砂防ダムの機能点検と維持強化
 - ⑥ 公共施設の漏電・感震・避雷ブレーカーの全館設置
 - ⑦ 消防団支援策の強化
 - ア 協力事業所への支援（会社広告無料等）
 - イ 協力事業所の公表、顕彰
 - ウ 若い世代の消防団加入の促進手段として消防服の検討
 - ⑧ 防災会議に女性委員の登用の拡充
 - ⑨ 女性視点の防災ブックの作成
 - ⑩ 子ども防災手帳の作成
 - ⑪ 防災リーダーの育成と拡大
 - ア 防災士取得後防災リーダーが地域活動できる環境整備
 - イ ジュニア防災リーダーのさらなる養成
 - ⑫ 防潮堤・防波堤の強化及び岩屋海岸の護岸強化
 - ⑬ ハザードマップの周知とシミュレーションの実施
 - ⑭ 避難所の整備と拡大
 - ア 学校・教育施設の安全対策

- イ 福祉避難所の早急な拡充
- ウ ペットと一緒に避難できる施設の整備
- エ 避難所となる体育館にエアコン設置工事の早期実施
- オ 地域集会所整備事業の更なる推進と支援
- ⑩ 要援護者の防災グッズの配備
 - ア 視覚障害者、聴覚障害者用ベスト着の普及
 - イ ヘルプカードの普及
- ⑪ 夜間の防災訓練実施
- ⑫ 観光客に対する避難情報に更なる推進
 - ア観光施設等の避難誘導の多言語化のさらなる充実
 - イ外国人のための避難方法周知の明確化
 - エ観光地に避難場所がわかるように「避難場所ルート看板」の設置
 - オ避難誘導アプリ 淡路市デジタルマップの啓発周知強化
- ⑬ ため池管理の ICT 化のさらなる促進と検証
- ⑭ 水位計の導入による効果の検証

4. AED の適切な管理と有効的な活用

- ① 24 時間市民が利用できる環境整備
 - ア 24 時間営業コンビニエンスストアへ早期の協力要請をし、速やかなる設置
 - イ 本庁及び各事務所に設置済みの AED を屋内から屋外設置に変更
 - ウ 災害時避難所として活用する可能性がある体育館内に AED 設置
- ② AED 市内設置登録制度の導入並びに公開されている AED マップの啓発
- ③ AED の使用講習及び応急手当員も拡充（各種団体・会社・学校）
- ④ 民間設置の助成制度・リース制度の導入
- ⑤ AED の適切な機能管理

5. 少子高齢化等に対応したバリアフリー化

- ① 市営住宅にエレベーター早期設置・公共住宅総合計画に沿って早期実施
- ② 公共施設のトイレの完全洋式化への更なる推進

6. 暴力追放のネットワークづくり

市民団体への更なるサポート体制の強化

7. 市道・県道・国道の安全対策

- ① 夢舞台周辺道路の交通安全対策の確保
- ② 市道改良等における計画的及び迅速な実施(佐古・薄木線の早期全面舗装)
- ③ 合併支援道路の計画的な着工推進と早期の完成
- ④ 市道・県道の落石等、防止工事の推進
- ⑤ 横断歩道における歩行者の優先マナーの啓発強化
- ⑥ 横断歩道安全対策「注意喚起の設置・横断歩道ゼブララインのグリーン化」
- ⑦ 市道管理の充実（道路愛護負担金等の拡充）
- ⑧ 法定外公共物、里道改修等工事のさらなる拡充
- ⑨ 市道の陥没やひび割れなどの危険箇所を簡単かつ迅速に市民が市に通報できるシステム構築のため、スマートフォンを活用した専用アプリの導入
- ⑩ 市・県道の狭窄部分の改良（津名・中田付近、一宮・遠田及び北淡、県道 31 号西海岸線）
- ⑪ 通学路に関する市・県道の安全確保（志筑橋～中田公民館・斗の内～育波・水越～富島・東浦中学校下市道～コーナン P 横交差点～松帆神社～浦小学校の通学路・一宮矢折線・育波県道地先の側溝蓋の設置・学習小学校国道出入り口の安全確保）東浦コーナン沿い中道 通学路 側溝蓋設置
- ⑫ 通学路でもある東浦久留麻パチンコ店からサンパークに向かう中道と交差する信号機のない変則四つ角 通行車両増加にともない、さらなる安全対策
- ⑬ スピード出しすぎ抑制のため、センターラインのない道路の速度規制並びに道路標示
- ⑭ 雨水対策（市、県、国道の常時冠水地域）
- ⑮ 街路灯の増設
ア 設置基準の見直し（特に県道 71 号線・塩尾＜洲本線＞
北淡＜轟バス停付近＞・東浦＜サンパーク線＞）
- ⑯ 信号機の早期設置（夢舞台南出口）
- ⑰ 市、県、国道の安全ライン等の塗布強化（グリーンベルト・センターライン・停止線等）
- ⑱ 渋滞緩和策
ア 国道 28 号線 岩屋田の代交差点・かっぱ天国下交差点 時差信号の検討

イ パーク&ライド駐車場整備

ウ 交通アクセス 観光客へ「公共交通の利用促進強化」

エ 学校周辺道路安全対策

- ・横断歩道のカラー化の推進

オ スクールゾーン時速 30 km制限の拡大

カ 速度標識のない市道に安全速度標識の設置

- ・本市仁井バス停より北淡震災公園
- ・仁井ふるさと道

キ 交通利便性の向上

- ・あわ神・あわ姫バスの南進及び他の公共交通から乗り換えにおいて持ち時間の短縮
- ・社会福祉法人への委託事業「移動支援」が利用できる対象者の拡充

ク 淡路市バス停の増設と施設整備の推進

8. 地域の安全対策

- ① 急傾斜地における里道のすべり止め対策 岩屋地域等

9. 防火対策

- ① 野焼きによる類焼予防対策（農場野焼きの届出の徹底）

10. 河川の適正管理の推進

- ① 堆積土砂の除去・雑草や流木等の撤去
- ② 河川浸水対策（郡家川・山田川・生穂川・王子川等）
- ③ 河川愛護費の市民協働負担金の拡充

11. 地籍調査のさらなる迅速な推進

12. 高齢者等特殊詐欺被害防止対策の強化

- ① 詐欺撃退装置の貸し出し及び防犯機能付き電話機購入補助の更なる周知

13. 交通安全の強化

- ① 自転車・歩行者の交通安全対策取り組みの強化

- ② 自転車のスピード出しすぎ抑制のための道路標示・中央分離線等の安全対策
- ③ 自転車ネットワーク整備事業の市内全域における早期実現

- 14. 女性へのDV対策の強化（基本計画の実効ある取組み）
- 15. 救急手当者（バイスタンダー）カードの導入、活用「広域」要望
- 16. 「見守りモニター制度」の導入、基盤監視情報の提供
- 17. 世界平和観音像跡地の方向性の早期決定
- 18. 東浦バスターミナル周辺施設（橋のモニュメント）を活用した「おもてなし」の観光戦略策定
- 19. 公共施設等を活用した熱中症予防対策の検討
夏季期間、市民が気軽に出入りできる休憩スペースの確保
- 20. 動物愛護の啓発
 - ① ペットの飼育責任の徹底
 - ② ネコの捕獲機の貸出し事業

【3】 農・漁業政策

1. 高齢者農家に対しての支援・・・農地、農作業サポートコーディネート
2. 担い手への農地利用集積の促進・・・農用地利用規定の拡充
3. 農業生産法人以外の法人に対する農地の貸付の促進
4. イノシシ被害に対しての抜本的な対策
 - ① 補助制度の拡充（檻の管理状況の把握と検証の強化・適正指導）
 - ② 鳥獣被害対策応援隊の創設
 - ③ 農会で檻の管理委託の推進（地域捕獲隊の設置基準の早期策定）
 - ④ 止め刺しの専門員の配置（臨職等）
 - ⑤ 農地以外の被害対策強化
 - ⑥ 捕獲指導員の増員
 - ⑦ 捕獲技術の研修強化
 - ⑧ 捕獲飼料の確保支援
 - ⑨ ICT化に伴う捕獲檻の全地域への拡充・大型捕獲檻の活用
 - ⑩ イノシシ被害対策専門の部署の設立
 - ⑪ 淡路産イノシシの美味しさを全国に啓発・ネーミング等ブランド化の促進
5. 耕作放棄地対策の整備
 - ① 集落による共同管理
 - ② 企業の農業参入支援（国営パイロット農地の遊休農地の解消拡大）
 - ③ 一般耕作放棄地の活用（農家レストランやフラワーガーデンパーク等の推進）
 - ④ ちひろガーデンファームの利用拡大
 - ⑤ 農振地の除外並びに非農地証明書発行の緩和
市全体として街づくり計画として検討協議を進めることが必要
6. 農業後継者への生産拡大への支援
 - ① 後継者マッチング支援の強化
 - ② 花卉農家への生産支援強化
ア 温室の再利用支援（貸し出し制度の拡充）

イ 高温対策費の補助金拡充

- ③ 果樹農家支援「ビワキジラミ被害の対策強化」
- ④ 機材購入助成、技術研修 認定農業者以外にも助成対象にする
- ⑤ 新規就農者等、生産技術向上や営農の支援強化策
- ⑥ 収益性のある作物生産の推奨（薬草等）
- ⑦ 6次産業の支援強化（びわ等の健康食品の開発）
- ⑧ 農福連携支援の強化

7. 農業生産基盤の整備と保全

- ① ほ場整備の効率的推進
- ② ため池、用水路の長寿命化
- ③ ため池利活用として水上ソーラーパネルの設置
- ④ かいぼり事業の推進、支援の拡充
かいぼり事業の推進並びに事業費の活用範囲の拡大
(小規模堤体の改修費補助制度)
- ⑤ 農地災害補助制度の拡充（40万円未満の農災補助）

8. 畜産事業の支援拡充

- ① 和牛増頭支援の拡充
- ② 飼料畑の確保支援
- ③ 後継者の育成と支援強化
 - ア 新規畜産業支援（融資支援、研修会等開催）
 - イ 空き施設の利用促進
- ④ 飼育ヘルパー制度の導入
- ⑤ 和牛出荷時等、使用の検査キットの購入補助
- ⑥ 畜産農家支援「飼育における負担軽減策」
 - ア 飼育サポーターの充実
 - イ 市営堆肥センターの設置並びに後継者育成のための研修施設の設立

9. 漁業振興策

- ① 漁業資源の保存と回復（海洋資源の徹底調査と対策強化）
 - ア 中間育成の拡充

イ 里山の保全

② シラスウナギ漁の抜本的改革

③ 魚の産地ブランド化

④ 地産地消の推進

⑤ 漁業後継者の育成推進

ア 研修制度の充実

イ 漁船リース事業の拡充要望

⑥ 養殖漁業の推進と支援（地域に適した養殖栽培並びに陸上養殖の推進、研修と試験的实施）※陸上養殖 淡水における海水魚養殖

⑦ 淡水・ため池、空き施設、休耕田での養殖（チョウザメ・高級エビ等）

⑧ 底引き網 被害 太刀魚等の針 テンヤ不法放棄 釣り客マナーの徹底
県と連携し被害防止対策並びに市独自の支援策を検討

【4】 地域産業の活性化策

1. 観光事業への取り組み

- ① 観光資産の発信強化（スマートインターチェンジ・新花さじき公園・岩屋タコス、シースケープラウンジ・西海岸沿線の世界一タ陽等）
- ② 世界的観光立島への総合企画の推進
 - ア 瀬戸内国際芸術祭及び太平洋島サミットの開催地誘致
 - イ 野島断層ギネス登録の推奨
- ③ 世界遺産認定活用事業の推進（渦潮世界遺産登録）
- ④ 海の有効活用の推進
 - ア 海の駅の活性化
 - イ 海のレジャー誘致
 - ウ 海外からの誘客促進（関空からの誘客）
 - エ 大阪湾ベイエリア構想の連携強化
 - オ 大阪湾新航路の創設
 - カ 県指定文化財「岩屋絵島」の整備
- ⑤ 淡路島観光事業の一体化
 - ア 年間イベントの企画と充実（地域イベントの助成金の拡充）
 - イ 地域ゾーニングによる活性化強化
 - ウ 地域情報の集約化と広報・ツーリストへの情報提供、着地型旅行の推進
 - エ 商工会、農協、漁業組合との連携
- ⑥ 国立・県立公園の景観整備への働きかけ
- ⑦ サイクリンイベントの環境整備
 - ア サイクリングロードの整備
 - イ 道路走行中の安全対策
 - ウ 道路情報（通行止め等）の案内パネル設置及び沿道のマップ整備
 - エ サイクリングイベント開催の促進
- ⑧ 東浦等「道の駅」駐車場管理施設の空調整備

2. 商工業の取り組み

- ① 建設業等への支援・・・多角化、業種転換へ本格支援
- ② 経営安定への支援強化（中小企業診断士等の支援）
- ③ 「地域ブランド」の育成・保護の推進・活用事業化によるビジネス支援

- ④ 中小企業支援事業（国）の活用推進サポーターの充実強化（ものづくり補助金・持続化補助金・レジシステムの導入補助金）
- ⑤ 飲食関連業支援
 - ア 地域クーポン券等発行支援の効果検証
 - イ 商工会要望に関する対応措置
- ⑥ 自動車販売支援「商品軽自動車の課税免除」
- ⑦ 地域協力隊の積極的導入「商品開発・販売・宣伝等」

【5】 教 育

1. 教育環境の充実
 - ① 「チーム学校」早期実施
 - ② 音読の推進（学力向上に期待）
 - ③ 情操教育の充実(地域の方とのふれあい事業の拡充)
 - ④ 子供交流事業の強化（淡路・明石）
 - ⑤ 学校のトイレ洋式化のさらなる推進
 - ⑥ タブレットによる反転授業の導入
 - ⑦ 教員の多忙化対策強化（部活動指導員等の積極的活用）
 - ⑧ スクールソーシャルワーカーの配置充実（全中学）
 - ⑨ 陸上競技場（第三種公認等）の早期建設への推進
 - ⑩ オンライン授業ができる早期の環境整備
 - ⑪ 主権者教育の充実
 - ⑫ IT ツール「RAMPS（ランプス）」の導入で子ども達のリスクの可視化における早期対応
2. 学校図書館図書整備費の確立
 - ① 計画的な図書の更新
 - ② 学校図書館への新聞配備
 - ③ 読者意欲の向上、（読書手帳等の配布）
 - ④ 感染症対策の更なる強化
3. 「食育」の推進と食べ残し対策
4. 給食の安全対策
5. 小中学校給食費・保育所副食費の無償化継続
6. 不登校児童・生徒に対する総合的支援体制の確立
 - ① 子どもの学びの選択場所の支援拡大
 - ② いじめ防止対策基本方針、いじめ防止対策推進法等現場対応の適時実施
 - ③ 青少年センター・及び教育センターの充実

- ④ 地域、保護者、学校との連携強化
- ⑤ 「いじめ」対策にスマホ通報システムの活用
 - ア 校内フリースクールの開設
 - イ タブレット端末活用し、早期発見と予防

7. 子どもの安全対策

- ① 小中学校他公共施設において設置の防犯カメラの設置基準の見直し
 - ア リアルタイムで監視できる体制づくり
 - イ 警察とネットワークでつながるシステムの構築
- ② ヤングケアラー支援対策の強化
 - ア 市内状況の掌握と支援体制の具体的な強化
- ③ 子ども「ネット依存」対策強化
(第4次青少年インターネット環境整備計画に基づく実施)
- ④ 地域ボランティアの活用・・・「地域安心安全ステーション」
- ⑤ 学校における安全対策
 - ア 新型インフルエンザ等疾病対策の充実
 - イ 防犯対策の強化・・・不審者の侵入防止策（インターホン設置の完全配備）
 - ウ バリアフリー化の推進（避難所安全整備）
- ⑥ 生命を助ける授業の実施
 - ア 防災教育、AED、人工呼吸の実習等
 - イ 動物愛護教育の強化(命の尊さを学ぶ)
- ⑦ 子どもの健康増進
 - ア タブレット等電子機器からの安全の強化策
 - ・ブルーライト・電磁波
 - ・スマホ等の使用制限（安心フィルターの設定・スクリーンタイムの利用・ファミリーリンクによる子どものスマホ安心管理）
 - イ 中学生ピロリ菌検査及び除菌の助成制度の導入
 - ウ 歯の健康（フッ化物洗口の実施、衛生指導の強化）
 - エ ガン教育の強化
- ⑧ 自転車の交通マナーの指導強化
 - ア 自転車通学者への安全対策、交通保険の加入促進
- ⑨ 登下校時の黄色い帽子着用の徹底

8. 発達障害児対策のさらなる推進
ア 有償アプリも含めたタブレット活用のさらなる充実
9. 文化・芸術の振興
 - ① 文化財の早期整備と活用
 - ② 淡路市文化遺産の一元管理（博物館施設の建設）
 - ③ 歴史的資料のデジタル化及び閲覧サイトの開設
 - ④ 中浜ネコ美術館の活性強化
 - ⑤ しづかホールのトイレ洋式化
10. 学童保育施設のさらなる環境整備
浦・仮屋等、人口増加地域における環境整備強化
11. 小中一貫教育の推進
12. 民生、児童委員の活動支援
 - ① 活動サポートの作成と配布
13. 学習指導要領を教員全員に公費にて配布し指導要領の徹底を図る
14. 学校内、盗撮防止対策の強化
15. 教師用の図書・教材等の業者からの無償対応から公費での有償対応の徹底

【6】 少子化・子育て支援

1. 出会いサポート事業
 - ① スキルアップ社会人交流の推進
 - ② 男女出会いの創出事業のさらなる周知・拡大（出会い交流イベント）
 - ③ 市が運営するお仲人事業の創設
2. 新婚世帯に対して
 - ① 結婚祝い金の創設の再度検討
 - ② 不妊・不育治療費の補助制度の充実
3. 子育て世帯に対して
 - ① 小中学校給食費・保育所副食費の無償化継続
 - ② 子育て世帯に対して、公共住宅の入居条件の緩和
 - ③ 出産祝い金の支給の拡充・継続
 - ④ 制度開始以前の支援対象外になっている多子世帯へのサポート
 - ⑤ 1歳未満児世帯へゴミ袋の支給 紙おむつのためごみが膨大になる
 - ⑥ 2歳未満児へのオムツの無料支給と産後訪問ケア
 - ⑦ 使用済紙おむつの園内回収処分の実施
 - ⑧ 保育園の延長および一時保育の拡充
 - ⑨ 「誰でも通園制度」の拡充
 - ⑩ 発達障害児の早期支援のための5歳児検診
 - ⑪ 子供・子育て支援事業の啓発・強化 アプリの充実
 - ⑫ 東浦地域における認定こども園への移行
 - ⑬ 市管理公園内の遊具設置推進
 - ⑭ 子ども食堂の整備充実
 - ⑮ 奨学生の代理返還の支援強化

【7】 健康・福祉政策

1. 社協への支援強化（ふるさと寄附金指名先の拡充）
2. 福祉タクシーの対象者の拡大
（所得制限の緩和、遠距離利用者、公共交通空白地域の加算制度の導入）
3. 施設の入居体制の一括管理
4. 中高年のひきこもり支援強化
 - ① アウトリーチ支援員の増強
 - ② サロンの開設拡大
5. 認知症対策の充実強化
 - ① 認知症サポーターが地域で活動できる環境整備
 - ② 早期発見診断シートのホームページ掲載
 - ③ 認知症・高齢者徘徊対策のさらなる強化（模擬訓練の実施・防犯カメラの設置拡充・2次元コードの無料配布）
 - ④ 認知症患者の家族等介護者に対する経済支援
6. 高齢者生活のサポート
 - ① 緊急通報システムの利用要件の支援（公的機関の随伴支援）
 - ② 高齢者、障がい者のゴミ出しの実情調査実施と並行し支援強化
 - ③ 在宅介護支援強化（（県）緊急対策事業の随伴推進）
 - ④ 改正介護法により介護保険適用外になる要支援1・2認定者の介護サービス継続の確保（対象者の不安を払拭）
 - ⑤ 在宅介護者（ケアラー）支援強化
 - ⑥ 介護従事者の負担軽減の為の施策充実
 - ア 介護ロボット導入の促進
 - ⑦ 高齢者・認知症ドライバーの交通事故防止対策の強化
 - ア 免許自主返納環境整備
 - イ 自動車運転免許証返納者への市バス乗車支援の拡充
（自主返納＋機能障害）

- ⑧ デジタル格差解消 スマホ等の無料講習会の実施
- 7. 障がい者への配慮
 - ① 地域事務所において障がい者サポートの充実
相談等においてテレビ電話等 ICT を活用した取り組み整備
 - ② 障がい者就労支援の強化
 - ③ A 型事業所継続支援（カップパ天国隣接の幸来）
 - ④ 障害者スポーツへの推進支援の強化
 - ⑤ ヘルプカードの啓発強化
 - ⑥ 障がい者に施設利用料の軽減策の拡充
 - ⑦ 視覚障害者支援
 - ア 情報提供の強化・拡充
 - イ ボランティア活動等における機材の整備強化
 - ウ ひとみの会 支援拡充
 - エ 視覚障がい児の教育支援「島内施設の充実、3 市連携」
 - ⑧ 身体障がい者手帳のカード化の推進（県への上申）
 - ア 高速道路 障がい者割引 資格要件の緩和（Ⅱ種も対象とする）を道路会社へ要望並びに市独自の支援検討
 - イ ミライロ ID のさらなる周知啓発
- 8. 聴覚障害者手話言語条例制定による市民サービスへの向上
 - ① 手話通訳者の育成と派遣推進
 - ② 市役所に設置したパトライト（避難警告回転灯）の周知
 - ③ 高齢障害者における介護サービスの自己負担軽減の拡充
 - ④ 生活習慣病の予防対策・・・市民の意識の向上を図る
- 9. 感染症対策
 - ① 新型コロナウイルス感染後の後遺症の対応
 - ② インフルエンザ等今後新たに発生が予想される感染症の早期対応
 - ア マイコプラズマ肺炎等対策強化
- 10. 肝炎ウイルス検診の推進・新型インフルエンザ・結核・おたふく風等のワクチン

接種の周知と実施

11. 乳がん・子宮頸がん健診の促進とワクチン接種公費負
12. 脳脊髄減少症の周知と対策
13. 友好的な敬老会の開催
14. まちぐるみ検診の推進
 - ① 胃がん予防にピロリ菌検査の周知と推奨
 - ② ガン検診の向上（コールリコール制度の強化）
15. がんになっても働き続けられる環境づくり
 - ① がんアピアランス補助要件の緩和
 - ② 治療をしながら働き続けることを望む人に、看護師やソーシャルワーカーらが継続的に相談・支援を行う「両立支援コーディネーター」の養成
16. 健康増進
 - ① ヘルスケアポイント・ボランティアポイント制度の導入
 - ② 健康 21 事業の積極的推進
(生活習慣の改善、食事、コミュニティの改善と活性)
 - ③ 健康寿命の延長（虚弱・筋肉減少症の予防するための栄養・運動の推進）
 - ④ 耳の虚弱・難聴の支援
早期発見のヒヤリングフレイルチェックの推進
 - ⑤ 高齢者の方などへ補聴器の購入補助制度の創設
 - ⑥ 片目失明者の生活支援制度
17. 北淡診療所の医師継続
18. 産科の再開（聖隷淡路病院の産科医の確保強化）

19. 難病であるリウマチ患者への行政の支援（島内での研修会の開催等）
20. 生活保護の適正受給者の推進
21. 腎臓透析患者が安心して暮らせる環境整備
22. 電力データの活用による見守り、フレイル予防
23. 帯状疱疹ワクチンの接種補助制度のさらなる拡充

【8】 定住化促進

1. 市民憲章の具現化の取り組み（郷土を愛しおもてなしの心を醸成）
2. 夢舞台サステイナブルパークタウンの土地利用の促進
3. 田園文化学園都市の推進
 - ① 国・県の教育、文化施設の誘致
 - ② 中山間地の移住促進・高速本四仁井付近等
 - ③ 島・都市ベイエリア構想の実現（淡路島、神戸の連携交流の強化）
4. 明石海峡大橋通行料金 島民無料化の交渉強化
5. 積極的な企業誘致
6. 島外通学・通勤者への対策
7. バス会社の定期券・回数券の共通化
8. バス運行の改善
 - ア 高速バスの各停乗降便の増便
 - イ 高速バス停の増設 一宮明神地域
 - ウ 待合停留所の環境整備
9. 地域活性化事業
 - ① 地域おこし協力隊の活用推進
 - ② 町内会活動の支援強化ならびに負担軽減
 - ③ 舟木遺跡の発掘加速と活用計画
10. 空き家等管理条例の制定
 - ① 危険空き家対策（危険認定の見直し、基幹道路沿いの点数加点等）
 - ② 空き家バンクの創設
 - ③ 市内業者と連携して空き家の有効活用

【9】 環境対策

1. 自治体 SDG s（国連の持続可能な開発目標）への推進（積極的な温暖化への政策強化・すべての人の健康、福祉策・住み続けられるまちづくり政策）等
2. リチウムイオン電池の回収方法の徹底
3. エコエネルギーの推進
 - ① 太陽光発電
 - ② 小水・風力発電
 - ③ リサイクル燃料
 - ④ バイオマス
 - ⑤ 潮流発電「明石海峡設置」
4. 淡路市環境基本条例に基づく生活自然環境の適正な保護保全
 - ① 太陽光発電施設の設置
 - ア 周辺環境被害調査実施
 - ② 適正な海岸利用の推進（大磯海岸等）
 - ③ ゴミの不法投棄対策として防犯監視カメラの設置
（一宮・県道 31 号明神先・東浦久留麻・釜口）
 - ④ 空き地の草刈り等適正管理の指導徹底
 - ア 空き地条例の見直し（第 4 条 3 の緩和）
 - ⑤ 家庭におけるエコ対策・・・クリーンアースデー、エコバッグの推進
5. 新たなルートで飛行が開始された後の想定を上回る騒音等の検証、国に改善を求める対策を講じる

【10】 住民サービス

1. 市役所業務の改善と整備

① 市役所窓口業務の改善

ア 「すぐやる窓口」課の名称変更と市民がすぐわかる1Fに移動

イ ワンストップサービスの導入

ウ 市役所相談窓口でのプライバシー保護の配慮（BGMによるマスキング効果）

エ 軟骨伝導イヤホンの設置

② 自治体 Wi-Fi 機能の強化（総務省補助金活用）

③ 高速道路駐車場の整備（トイレの設置、駐車区画線見直し、駐輪場の設置）

④ 市臨時職員等採用・・・市民優先情報の提供

⑤ NPO との連携強化

⑥ 選挙の投票支援

ア 期日前移動投票車の導入

イ 特定介護認定者の期日前投票の支援強化

ウ 期日前投票における施設・病院への外部立会人の積極的な推進

エ 郵便投票制度の緩和

2. 市営住宅の入居

① 優先枠の拡大（母子・父子・高齢障害者・障害者兄弟等）

② 入居条件の一つである保証人制度の緩和

③ 高齢者等住宅管理の自己負担の軽減

3. 職員の資質の向上

① 人事制度改革の導入

ア 行政能力の向上、

イ 表彰制度の充実

ウ 業務評価制度

② 職員の住民への接遇

ア 相談窓口に来られた市民に対する丁寧な対応の徹底

イ 接遇マナーのさらなる向上のための研修強化

ウ 庁舎外における市民に対する対応に際し身分の開示（名刺を渡すことの徹底）

③ 職員の交通安全意識の向上（無事故掲示板の設置）

4. 安心の交通ネットワークの充実強化

- ① 島内高速料金の島民割引・大型自動車割引の拡大の要望申達（県・国）
- ② 海上交通の高齢者・身体障がい者等の乗船料金の補助制度の創設
- ③ 安心センター前交差点信号機の設置
- ④ 生活観光バス（あわ神・あわ姫）の利便性の向上
 - ア 自動運転の先進モデル地への推進
 - イ 定期的なパブリックコメントの実施
 - ウ 公共交通バス（北部生活観光バス・南部生活観光バス）の運転手の安全教育の指導の徹底と余裕を持った運行スケジュールの確立
 - エ 地域要望に基づく県立淡路医療センター、神戸舞子まで延伸早期実現
 - オ 山田デマンド交通のルート強化
 - カ 中山間地域へのデマンドバスの拡充
 - キ 障がい者の乗降に対しきめ細かい対応
 - ク 東浦中持地域内にバス停設置
 - コ あわ神あわ姫バス停待合椅子の設置・雨風よけの建屋の増設
 - サ 市バスのサービス向上のため乗務員の接客向上
- ⑤ 岩屋ポートビル駐車場の自転車・バイク置き場の風雨除けプロテクター設置

5. 民泊・ジェットスキー等、地域住民と業者とのトラブルに対し、弁護士を活用した専門相談窓口の設置

6. 空き家対策 農地付空き家の積極的取引の促進

7. 環境改善

- ① プラスティックゴミ回収の利便性の向上
- ② ペットボトル回収に関し、分別の統一

8. 公共施設に雨傘の雫とり機器の設置

9. 防災拠点にもなりうる公園の整備

【 1 1 】 淡路島活性化の推進

1. 合併協議会の設置推進 「淡路島一市への環境整備の加速」
2. 淡路島総合特区事業（淡路島環境未来島構想）の積極展開
3. 定住自立圏構想事業の効果的な実施
4. 観光における淡路市～大阪～神戸市連携強化策
 - ① インバウンドによる淡路広域活性化への推進（関空航路活用）
 - ② 翼港の万博終了後の活用
 - ③ 津名港の活用
 - ④ 空飛ぶタクシー・自動運転の社会実験
5. 大型観光事業の企画と実施
 - ① 3市連携、官民協力
 - ② 国営明石海峡公園のリゾート整備事業への協力推進と淡路市観光政策の連携